

近年は環境変化やゴミによる海洋汚染で大切な海が危機にさらされ、水中生物への影響がさらに大きくなっています。  
海未来は次の世代にきれいな海を未来に残すために環境保全に興味のあるダイバー達や子どもたちと一緒に次の活動を行っています。海や水辺の環境保護活動にぜひご参加ください。

## ダイバーによる水中清掃活動



いつもはダイビングを楽しんでいるダイバーがボランティアで水中清掃に参加する活動です。近畿各地の湖川や海に沈む投棄ゴミを回収します。

14 海の豊かさを  
守ろう

12 つくる責任  
つかう責任

近年はプラスチックごみの海洋汚染が問題になり、水中生物への悪影響もさらに大きくなっています。何よりもゴミを減らすことが大切ですが、水中に投棄されたゴミはダイバーによって回収するより方法がありません。海未来では、参加いただくボランティアダイバーに費用負担をおかけしないようシリンダー代などの参加費を無料で行っています。

## 子どもたちや一般参加による陸上清掃活動



海や湖川に投棄されたプラスチックゴミなど生活ゴミの清掃活動や地球にとって大切なサンゴを再生する保護活動は、ダイバーだけではありません。

14 海の豊かさを  
守ろう

15 陸の豊かさも  
守ろう

12 つくる責任  
つかう責任

ダイバーが行う水中清掃の周辺の水辺にもたくさんのゴミが投棄されており、子供達やダイビングを知らない一般のかたと一緒に回収する活動も行っていきます。  
海にはどれくらいのゴミが沈んでいるのか、また海や川に流れ着いたゴミにはどんなものが多いのかを体験いただけたと思っています。

## サンゴの修復と再生活動



サンゴは魚たちの大切な生活の場であり、私たち人間にとって大切な役割を果たしています。風水害や水温の上昇、海洋の酸性化や汚染などの脅威により世界規模で急激に減少しています。

14 海の豊かさを  
守ろう

13 異域交流に  
積極的な対応を

海未来は、和歌山県串本を拠点に沖縄本島や徳之島などで折れてしまったサンゴを水中基盤に固定し、サンゴを復元する活動を大学のサンゴ再生研究グループと一緒に取り組んでいます。

## 環境保全活動の普及啓発活動



海のイベントや水中環境保護イベントに出展して、水中に沈んでいる実際のごみがどんなものかを展示したり、海洋生物などを含む水中の環境保護についてのセミナーを開催しています。

14 海の豊かさを  
守ろう

15 陸の豊かさも  
守ろう

4 異域の高い教育を  
みんなに

より多くの子供達や一般のかたに関心を持っていただけるように、また日常生活の中で、少しでもゴミを減らせるように活動を展開しています。

## これまでの水中・水辺清掃活動実績 (2008～2023)

累計清掃実施回数 **225** 回 累計ゴミ回収重量 **63,048** kg  
累計ダイバー参加者数 **3,584** 名 累計一般参加者数 **481** 名

## これまで回収したゴミの内容 (2008～2023)

プラスチック類ゴミ		飲料類ゴミ		その他ゴミ	
プラスチック袋	10,572	ペットボトル	5,123	バイク	23
プラスチックトレイ	7,485	空きカン	13,916	自転車	212
プラスチックケース	127	空きビン	5,167	パソコン・家電	90
コンテナかご	22	その他飲料カップなど	1,347	衣類・バッグ	408
マスク	97	飲料ごみ計	1,349	携帯電話	125
バケツ	934	釣り具類ごみ		バッテリー・乾電池	439
タイヤ	685	竿・リール	2,637	椅子	272
ビニール手袋	55	エギ	3,879	傘	31
プラ食器	411	オモリ	4,472	ロープ類	574
プラスチック片	3,825	サビキかご	35,750	金属類	1,769
その他プラスチック	5,226	あみ・魚堀い網	296	その他ゴミ計	3,729
<b>プラスチック類ゴミ計</b>	<b>29,439</b>	<b>釣り具類ゴミ計</b>	<b>49,348</b>	<b>その他ゴミ計</b>	<b>7,672</b>



## これまでのサンゴ再生活動実績 (2015～2023)

累計サンゴ再生実施回数 **31** 回 累計サンゴ苗設置数 **218** 個  
累計ダイバー参加者数 **251** 名 累計一般参加者数 **56** 名

